

事務事業評価における総括

| 部 局 名 | 教育推進部 | 記入責任者 | 中山 早恵子 |
|--|-------|-------|--------|
| 評価について（現状と課題） | | | |
| <p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>教育推進部の評価対象事業のうち未着手事業及び実績なし以外の事業は、227 事業で、このうち 210 事業が S 評価、指標は達成できなかったが成果はあがったとして 15 事業を A 評価、成果は今後見込めるとして 2 事業を C 評価としています。業務計画に位置付けている、重点的に進めていくべき 86 事業については、A 評価が 3 事業、C 評価は 0 事業で、概ね S 評価となっており、全体としては順調に事業が進捗しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>業務計画に位置付けた事業のうち、下寺尾遺跡群（七堂伽藍跡・高座郡衙）保存整備事業は、整備計画の策定には更なる調査研究が必要となりましたが、史跡指定地内発掘調査の現地説明会を実施し 204 人の方にご参加いただいたことや、七堂伽藍跡碑 60 周年記念事業の実施、発掘調査の結果郡家の北西部に新たな遺構が確認されるなどの成果があったため A 評価としています。幼児期の教育に関する基礎研究・研修事業については、事業の指標は達成できませんでしたが、幼児期の教育に関する基礎研究を基に、発達心理学、臨床心理学を中心とする大学研究者と連携を深め、セミナーやシンポジウムを通して市民に情報提供し、子育てや教育力の向上に寄与することができ、また内容の充実にもつながっているため A 評価としています。</p> <p>業務計画に位置付けていない事業のうち C 評価となった都市資源データベースの導入の検討については、公開・運営の手法の検討までとなりましたが、引き続き検討を行い、公開し運営していくことで成果が見込めると考えています。地域教育懇談会に係る事務については、懇談会の開催回数が目標値に至りませんでした。過去のアンケートなどを参考にテーマの選定などを行い、1 回あたりの平均参加者数が前年度の 1.4 倍となったことやアンケートで満足したとの回答が 87%となったことから A 評価としています。今後は次期教育基本計画を策定することから、本市の教育に関する情報提供と意見交換の実施も視野に入れつつ、事業のあり方について検討していきます。</p> <p>また、庁内各課とさまざまな事業で共催や連携事業を実施しており、庁内連携についても一定の成果があったと考えています。</p> | | | |
| 今後の方向性 | | | |
| <p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>今後も、次期総合計画や次期教育基本計画の策定も視野に入れ、事務事業評価結果や市民のニーズ、事業にかかる人工などを踏まえ、事業の見直しを進めます。また、働き方の見直しや事務量が増大している現状に対応するため、重複して行っている作業の解消に向けた検討を行っていきます。</p> | | | |